報道関係各位
NEWS RELEASE【書籍のご案内】

2026年11月27日
あさ出版

10万人との出逢いからわかった「応援される人」の共通点

人生が変わる「応援」の法則

なぜ人を「応援」するとうまくいくのか

2026年
12月16日発売

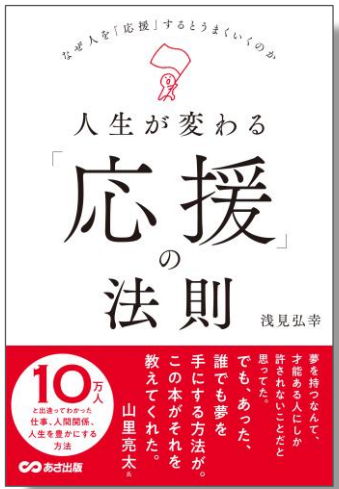
株式会社あさ出版（代表取締役：田賀井弘毅、所在地：東京都豊島区）は、浅見弘幸著『人生が変わる「応援」の法則 なぜ人を「応援」するとうまくいくのか』を2026年12月16日（水）に発売いたします。

仕事も、人間関係も、チャンスも！ 人生を好転させる「応援」の力

「自分に自信がない」「何かを変えたいけれど、何をすればいいかわからない」「人間関係がうまくいかない」。そんなとき、私たちはつい、自分自身を変えようとしがちです。しかし、人生を変えるきっかけは、目の前の誰かを「応援する」ことにあるのかもしれません。著者の浅見弘幸氏は、心身の不調から銀行員を退職し、治療家に転身。独立後も経営難や病気などを経験するなか、人を応援し、人と人をつなぐことで、自身の人生を好転させてきました。これまでにのべ10万人と出逢い、講演会や交流会など700回以上のイベントを主催。本書では、著者自身の経験や具体的なエピソードを交えながら、信頼を育み、ご縁を広げ、仕事や人間関係、人生を豊かにする「応援」の法則を紹介します。

タイトル：人生が変わる「応援」の法則 なぜ人を「応援」するとうまくいくのか

著者：浅見弘幸　　ページ数：192ページ
価格：1,760円（税込）奥付発行日：2026年12月21日
ISBN：978-4-86667-866-5
※価格は発売時点の予定価格です。変更となる場合があります。



【目次】

第1章　なぜ「応援」することで人生が変わるのか
第2章　人を「応援」するとは、どういうことなのか
第3章　「応援」は、循環している
第4章　「応援」で人生が変わる人の習慣
第5章　自分自身を「応援」するという生き方

【著者プロフィール】浅見弘幸（あさみ・ひろゆき）



ご縁と応援のプロデューサー。柔道整復師。妊活・マタニティ・産後ケア専門整体院院長。1974年埼玉県生まれ。関西大学卒業後、都市銀行に入行するも、心身のバランスを崩して退職。「人に喜ばれる仕事がしたい」と治療家に転身する。独立後も経営難や病気などの困難を経験するが、人を応援し、人と人をつなぐ活動を始めたことで、ご縁が広がり、自身の人生も好転。これまでにのべ10万人と出逢い、講演会や交流会など700回以上のイベントを主催。作家の喜多川泰氏の講演会を11年以上にわたって開催するほか、500人規模の講演イベントも開催するなど、数多くの出逢いを生み出してきた。現在は「人生は一人では変わらない。応援とご縁が人生を動かす」をテーマに、互いに応援し合える場づくりを続けている。

なぜ「応援」することで人生が変わるのか

人と人が出逢った瞬間に、一つの「点」が生まれる。その点が、その後の人生につながっていくことで、少しずつ「線」になっていく。出逢いは点。ご縁は線なのです。

その「出逢い」を「ご縁」へと育むための方法が、人を「応援」することです。誰かを「応援」することで「信頼」が生まれ、「ご縁」が深まり、さらには新たな「ご縁」へとつながっていく。その積み重ねが、自分自身の人生をも豊かに変えていくのです。

「応援」は、循環している

人を「応援」することは、決して一方通行の行為ではありません。誰かを「応援」することで、その人との間に「信頼」が生まれ、「ご縁」が深まっていきます。

そして、自分が困ったときや何かに挑戦しようとするとき、今度は自分が誰かから「応援」されることがあります。それは、必ずしも自分が「応援」した相手からとは限りません。「ご縁」を通じて、思いもよらない人から「応援」されることもあるのです。そうして誰かに「応援」してもらったことへの「感謝」が、また別の誰かを「応援」する原動力となります。

「応援する」「応援される」「感謝する」、そして「また誰かを応援する」。この循環が、「ご縁」をさらに広げ、仕事や人間関係、さまざまな挑戦において、新たな可能性やチャンスをもたらしてくれるのです。

「応援」で人生が変わる人の習慣 例

人から自然と「応援」される人には、日々の人との関わり方に共通する習慣があります。特別な才能や能力が必要なわけではありません。本書では、信頼を育み、応援の輪を広げるために、誰もが今日から実践できる習慣を紹介しています。

①「ありがとう」はきちんと言葉にして、具体的に伝える

「感謝」は、心の中で思っているだけでは、相手に伝わりません。「ありがとう」という言葉には、相手の行動を認め、その人の存在を大切にする力があるのです。

もう一つ、感謝を伝えるときに、わたしが大切にしていることがあります。

それは、何に対して「ありがたい」と思ったのかを、できるだけ具体的に伝えることです。感謝を具体的に伝えることは、まさに、相手がしてくれた「応援」の価値を知らせることでもあるのです

②「結果」だけでなく「途中」を見せる

完成した商品やサービスという「結果」だけではなく、そこに至るまでの「過程（途中）」にも価値が生まれる、という考え方です。

人は、完成したものを見せられるだけでなく、そこに至る過程を知ることで、より深い愛着を覚えることがあります。発信を見ている人が、参加する人になり、参加した人が、「応援する人」になっていくのです。

そして、人は自分が少しでも関わった物語の続きを、「応援」したくなるものなのです

書評・著者インタビュー等のご検討をいただければ幸いです。情報掲載、画像提供の問い合わせ
古垣（フルガキ）TEL：03-3983-3225　090-4424-6911　furugaki@asa21.com
株式会社あさ出版　東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階